

第1回テーマ

発熱を考えると、診る

埼玉動物医療センター
総合診療科 石川勇一

Key Sentence

- 体温調節の仕組み
- 高体温 ≠ 発熱
- 発熱のメカニズム
- やめよう「とりあえず抗生剤」
- やめよう「とりあえずステロイド」
- 発熱+”α”を探す
- よくある疾患を見逃さない
- 膿瘍はどこにだってできる
- 緊急！敗血症
- 知っておきたい、髄膜炎と心内膜炎
- 跛行がなくても、関節炎は外せない
- 入院中・手術後の発熱に困らないように
- 化学療法中の発熱は絶対に甘くみない
- 不明熱という前にもう一度考え直そう

総合診療科勉強会の第1回は「発熱」です。発熱は日常の診療の中で確実に遭遇する徴候ですが、きちんと勉強する機会はそう多くありません。成書を紐解いてみても、いわゆる不明熱などは述べられていますが、それでは不明熱とする前にどういった考え方で発熱疾患の診療をおこなうべきか、診療現場の疑問に答えてくれるような情報はとても少ないです。

発熱の原因となり得る疾患は非常に多く、すべてを完璧に網羅するのは困難です。けれど、考え方を整理すれば、おさえるべきポイントはみえてきます。「とりあえず抗生剤」「とりあえずステロイド」とする前に、発熱の原因に思いをめぐらせ、たとえ対症治療であっても「考えたうえでの抗生剤」「考えたうえでのステロイド」を処方できるようにしたいです。

私も含めて、“発熱”という徴候に経験的に対処しているかたも多いのではないかと思います。今回の勉強会ではそれをもう少し発展させて、発熱を論理的にみれるようにいくつかのトピックや実際の症例を例示していきたいと思います。

ご興味のあるかた、日常の診療で発熱の診療に困られているかた、よろしければ是非ご参加ください。一緒に発熱の考え方を深めましょう。

埼玉動物医療センター 石川勇一

参加申込書

埼玉動物医療センター 総合診療科勉強会 第1回

| | |
|--------|---|
| テーマ | 発熱を考慮して、診る |
| 日時 | 2015年 6月 23日 (火) 20:00-22:00 |
| 場所 | 埼玉動物医療センター 2F セミナー室 住所：埼玉県入間市狭山台118 |
| 講師 | 石川勇一（埼玉動物医療センター 副院長・総合診療科） |
| 参加費用 | 2000円（ハンドアウト代込み） |
| 申し込み締切 | 6/16（火） ※定員に達し次第、締め切らせていただく場合があります。 |
| 問い合わせ | ご不明な点がございましたら埼玉動物医療センター石川までお問い合わせください。（電話：04-2935-2100） |



参加ご希望の方は必要事項をご記入のうえ、FAXまたはE-mailでお送りください。

病院名 : _____

参加者名 : _____

住所 : _____

電話 : _____

FAX : _____

E-mail : _____

来場方法 : 車 台 車以外

送信先：埼玉動物医療センター 石川 宛

FAX : 04-2935-2311

E-mail : info.samec@ak.wakwak.com (参加申し込み専用アドレス)